

日本医療研究開発機構(AMED) 「創薬支援インフォマティクスシステム構築」 公募開始について

平成 27 年 6 月 26 日

信濃町地区研究者各位

信濃町キャンパス 学術研究支援課

6 月 19 日付で『創薬支援インフォマティクスシステム構築』について新規課題が公募されました。

ご応募を検討されている研究者におかれましては下記照会先までご一報くださいますようお願いいたします。

(1) 応募意思の申し出締切：【平成 27 年 7 月 3 日（金）】

(2) 応募書類一式提出締切：【平成 27 年 7 月 6 日（月）】

【注意点】

- ・ 本学で応募が可能な方は、本学と雇用関係のある”常勤”の研究者となります。
- ・ 提案書の提出方法：【郵送】

—公募概要—

創薬支援推進事業「創薬支援インフォマティクスシステム構築」

<http://www.amed.go.jp/koubo/060020150619.html>[外部ページ]

【提案書類受付期間】平成 27 年 6 月 19 日～平成 27 年 7 月 17 日（金）（正午）

【研究期間】最大 5 年間（平成 27 年度～31 年度）（平成 27 年 10 月開始予定）

【研究費】 1 研究課題あたり 1.5～2 億円程度/年

（一般管理費は直接経費の 10%以内）

【採択課題数】公募テーマ毎に各 1 件

※ 公募テーマ①～③の各課題ごとに「研究代表者」を置き、研究代表者の中から「統括責任者」を一名選任する。

※ 統括責任者が①～③の各課題をとりまとめ応募

【公募テーマ】

①薬物動態予測のためのインフォマティクスシステム構築に関する研究

中枢移行性を中心とした薬物動態について、基礎データの収集とデータベース化、インシリコ予測モデルの構築等の技術開発を目標とする。

②心毒性（QT 延長）予測のためのインフォマティクスシステム構築に関する研究

主に QT 延長の心毒性にかかる基礎データの収集とデータベース化、インシリコ予測モデルの構築等の技術開発を目標とする。

③肝毒性予測のためのインフォマティクスシステム構築に関する研究

肝毒性にかかる基礎データの収集とデータベース化、インシリコ予測モデルの構築等の技術開発を目標とする。

最終的には、上記①～③のインフォマティクスシステムを統合し、一つのシステムとして構築することを目標とする。

担当（照会先）：信濃町キャンパス 学術研究支援課 AMED 担当

メール：amed-shinano@adst.keio.ac.jp